

Are Cars Becoming PCs on Wheels?

自動車は車輪付きの PC と化していくのでしょうか？

コネクテッドビークルや自動化車両のためのセキュリティ

第 66 回 IAA 2015 フランクフルトモーターショーでは、自動車産業の最新のイノベーションが一般に公開されました。車載エレクトロニクスが増える傾向は衰えることなく続きますが、高まる複雑性にはだれが対応するのでしょうか。またセキュリティはどうでしょう。今年の展示会では、ESCRYPT の専門家がこれらのトピックについてお客様と意見を交わしました。

半自動化車両、コネクティビティ、および新しいパワートレインシステムが IAA 2015 の主要トピックでした。これらのトレンドは道路利用者に多くのメリットをもたらします。自動車はますます安全、クリーン、そして経済的なものになりながらも、新しい機能を数多く提供していきます。たとえば、最新の車両システムサービスのアップデートをインターネット経由の OTA でダウンロードしてインストールすることが、近々可能になるでしょう。そうすると、車は車輪の付いた PC となるのでしょうか？いいえ、とんでもないことです！しかしながら、車には情報技術が今後さらに多く活用されていくことになるでしょうし、こうした傾向に伴い、特に情報システムセキュリティについては考慮しなければならないことがたくさんあります。自動車の情報システムに対する要件は、他の IT アプ

リケーションなら十分と思われる要件よりもはるかに多く広範にわたります。車両の制動システム、車線維持支援システム、および車間距離警報システムはほんの数例に過ぎません。これらは、センサの故障やケーブルの切断、または最新までのアップデートを受け継ぐインストールの場合でさえ、どのような状況においても正しく機能しなければなりません。しかし、これを達成するためには何が必要でしょうか？弊社の専門家はこれらの事柄について IAA 展示会の開催中にお客様と Bosch 社のブースで話し合いました。その結果、単独で十分といえる対策はなく、全体論的なソリューションが必要であるということでした。車を本当に安全でセキュリティも万全なものにするためには、インテリジェントツール、適切に設計された E/E アーキテクチャ、セキュアなベシックソフト

ウェア、シームレスなプロセス、そして当然ながら技術知見の全てが必要です。ETAS と ESCRYPT にはこれらの議論に貢献できることがたくさんあります。弊社の専門コンサルティングサービス、開発初期の仮想化ツール、およびセキュアなソフトウェア開発はますます大きな役割を担いつつあります。自動車コンピュータシステムへの不正アクセスを防ぐことに関しては、ESCRYPT が車両電子システム向けに複数レベルのセキュリティを提供するソリューションを提案しています。

私は個人的にも弊社の能力を信頼しています。その証拠に、私は毎日、お客様および同僚の技能と専門知識に命をゆだねてマイカーを利用しています。

執筆者

Jürgen Crepin
ETAS GmbH
 マーケティング
 コミュニケーション
 上級専門家